

日野宿叢書 第十冊

日野宿關係史料集 六

日野市

目次

口 繪
目 次
例 言
凡 例

一	日野本郷戊午御年貢割付状	正保三年(一六四六年)十一月	1
二	伊兵衛伴権八不届我儘につき預手形	元禄十一年(一六九八年)十一月十一日	2
三	元禄十五年春火事拝借請取帳・同十二年漬拝借請取帳	元禄十五年(一七〇二年)十二月七日	2
四	延宝九年御拝借・元禄十二年漬家御拝借等上納取立帳	正徳二年(一七一二年)十二月	5
五	日野宿横丁長右衛門親子伝馬不届につき詫手形	正徳四年(一七一四年)二月十三日	10
六	日野本郷高反別明細帳写	正徳六年(一七二六年)六月	11
七	古未進返濟年季につき日野本郷嘆願書	享保元年(一七二六年)七月頃	24
八	古未進返濟年季につき日野本郷嘆願書	享保元年(一七二六年)七月	24
九	古未進返濟年季につき嘆願書	享保元年(一七二六年)七月二十六日	26
一〇	日野本郷組直しにつき百姓惣連判証文帳	享保二年(一七二七年)正月	27
一一	御奉行様より往還道掃除御触書写・日野宿御証文下書ならび柴崎村平山村掃除御請証文	享保三年(一七二八年)六月	38
一二	姥久保山木切りにつき詫証文	享保六年(一七二一年)五月	41
一三	御鷹場合札受取証文	享保九年(一七二四年)九月十五日	42
一四	女子年季奉公人請状	宝暦八年(一七五八年)二月	43

一五	大昌寺御朱印改記録	天明七年(一七八七年)七月吉日	43
一六	御巡見様御通行之節覧	天明八年(一七八八年)四月二日	51
一七	大昌寺観誉上人命終有増覚書	文化二年(一八〇五年)閏八月二日	53
一八	組百姓不帰依につき年貢諸役銭直納証文	文化九年(一八一二年)六月十八日	54
一九	名主両人争論につき内済議定証文	文化十年(一八一三年)五月	55
二〇	地頭先納ならび御用金賦課につき下田村嘆願書写	文政二年(一八一九年)四月	55
二一	地頭非法につき下田村嘆願書写	文政二年(一八一九年)四月	58
二二	日野宿改革組合村書上帳	文政十年(一八二七年)	58
二三	甲府定飛脚荷物改控帳	天保十年(一八五九年)八月十六日	71
二四	甲府定飛脚荷物改につき日野宿届書	天保十年(一八五九年)八月	75
二五	百姓名跡大借金につき配分証文	天保十三年(一八四二年)十二月	77
二六	日野宿諸算用争論につき濟口証文案	天保年間	78
二七	佐藤彦五郎家香奠受納帳	嘉永二年(一八四九年)正月	79
二八	佐藤彦五郎家法事志帳	嘉永三年(一八五〇年)正月	80
二九	佐藤彦五郎家法事諸買物ならび料理一式覚帳	嘉永三年正月十七日	82
三〇	八王子千人同心衆扶持米納才料請負証文	嘉永五年(一八五二年)三月	85
三一	捨子養育手当金受取証文	嘉永七年(一八五四年)十一月七日	86
三二	日野宿組合十三ヶ村農兵入用割合出金帳	慶応二年(一八六六年)七月朔日	86
三三	日野宿組合長州莞向兵賦手当金・一揆打払農兵入用割合帳	慶応二年(一八六六年)八月	89
三四	日野宿組合寅九月より十二月迄兵賦給金高割取立帳	慶応二年(一八六六年)九月	92
三五	日野本郷辰夏宿方納方諸人用勘定帳	慶応四年(一八六八年)六月十五日	93
三六	日野宿下問屋場組々人馬取調帳	慶応四年(一八六八年)七月	97
三七	多摩郡村々預鉄砲帳	幕末年未詳	100

三八 八王子千人同心衆扶持方置米之儀御尋につき日野本郷名主返答書

江戸年未詳酉年十一月二十一日……………104

三九 長命寺普請御手当頼母子講取計方之儀御尋につき返答書写

江戸年未詳……………105

例言

一、本書は、編年収録した日野宿関係史料集である。

二、本書は、平成二十七年(二〇一五年)五月八日宮崎精太氏から寄贈された佐藤彦五郎家旧蔵日野宿文書二二二件の内、特に重要な三九件を収録する。

二、本書の製作は、日野市より委託を受けた一般社団法人文化遺産調査研究保存継承機構ゆらびが行った。

個別史料の解説・校訂・解題は西脇康(一般社団法人文化遺産調査研究保存継承機構ゆらび史料調査団団長・宮崎家所蔵史料等調査団団長・東京大学史料編纂所専門職員)が担当した。

本書全体のレイアウト等は長谷川奈織(一般社団法人文化遺産調査研究保存継承機構ゆらび調査員)が担当した。

三、本書で使用した写真の撮影は、藤井和夫(元日野市立新選組のふるさと歴史館館長)が担当した。